

事業方針	事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料無償化への対応・・・預かり保育担当の教員を増やす ・家庭教育の重要性の発信・・・何をどうすべきか具体的な手立てを伝える ・環境教育の見直し・・・教員研修の体系化 	
	予算編成の基軸	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備・・・北園舎屋上防水シート ・教員の増強・・・預かり保育の補助員をおく 	
	具体項目	内 容	
1	教育計画	満3歳児教育の充実	無償化により満3歳児の需要が高まっているが、親の保育不安も背景にあり年6回行っている未就園児教室の充実を計画したが、コロナ禍において子育て講座を行うことができなかった。今後対応を考えたい。
		小学校との接続	教育要領の改訂と学習指導要領の改訂による求められる能力について、わかりやすく伝える→学年懇談会資料にに掲載した * 非認知能力を育てる体験の重要性は当園の教育そのものであり新教育要領との関係性を明らかにしたい
2	研究計画	指導方法のスキルアップ	園内研修の強化により指導能力のスキルアップを図った 他園の公開保育への積極的参加する
		教員同士の意見交換により行事を決める	教員同士の意見交換の場を多くし、一人一人の子どもについて共通理解を深めた。
3	地域連携計画	地域の自然を学ぶ	教員研修と合わせて、親子で地域の自然を学ぶ機会を設けた。 例年行ってきた「田んぼの会」がコロナの影響で実施できなかった。
4	施設設備計画	園庭整備	遊具の点検を、毎朝できるだけ多くの教員で行うよう改善した。
		北園舎防水シート張り替え	北園舎加工が完了した
5	管理運営計画	教員資質向上	発達支援教育の必要性を感じている者が見られるので、研修の機会をふやすことができたが施設の見学ができていないため今後の課題となった。
		職員の役割分担の再編成	専門職としての責任や役割が果たせるように、役割分担や業務の合理化が進んだ。特にITを活用した保護者への通信の在り方についての考察が進んだ。
6	財務計画	施設の多機能化を視野に入れて、シミュレーションを多くとり今後の判断に生かす	市内各園の動向を見ながら当園にあった運営方法を検討する。園児数150人が基準となるが、教員数や実費徴収額の整備が必要となる。